

## 教科目名 通信工学 II (Communication Engineering II)

学科名・学年 : 制御情報工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員 : 油田 健太郎

授業の概要			
現在使用されている代表的な通信システムのしくみを理解する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (c) (d1②) (g)	
(1) 各種通信システムのしくみを理解する。(定期試験)			
(2) 通信工学 I で学習した通信技術が実際のシステムでどのように応用されているかを理解する。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	移動通信	携帯電話ネットワーク, セルラ方式, PHS	【理解の度合い】
2	〃		
3	公衆通信ネットワーク	固定電話ネットワーク, 回線交換とパケット交換, マルチメディア通信と ISDN	
4	〃	インターネット	
5	〃		
6	音声放送	AM/FM 放送, ステレオ放送	
7	まとめと復習	まとめと復習を行ない, 授業内容の理解を深める	
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
10	テレビジョン放送	標準テレビジョン方式, 高品位テレビジョン方式, デジタル放送	【試験の点数】 点
11	衛星通信	衛星の種類	
12	〃	通信衛星と放送衛星, GPS	
13	インターネット回線	標準構成, 無線 LAN 方式	
14	まとめと復習	まとめと復習を行ない, 授業内容の理解を深める	
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		教科書にない事項はプリントを配布して講義する。	
教科書		木村磐根編著, 「通信工学概論」, オーム社。	
参考図書		佐藤正志他, 「エース情報通信工学」, 朝倉書店。 山下不二雄他, 「通信工学概論」, 森北出版。	
関連科目		通信工学 I, 信号処理論 (専攻科), 情報セキュリティー (専攻科)	
総合評価		達成目標の (1)~(2) について 2 回の試験で評価する。 総合評価を 2 回の定期試験の平均として, 総合評価が 60 点以上を合格とする。	
		【総合達成度】	
		【総合評価】 点	